

生活状況の調査票(3年後) 3枚目(全3枚)

項目ごとに、この一週間におけるあなたの状態に最もよく当てはまる番号を一つだけ選び、○で囲んで下さい。

		まったく ない	少しある	多い	とても 多い
35	胃のあたり(おなか)に痛みを感じましたか。……………	1	2	3	4
36	胃のあたりに不快感がありましたか。……………	1	2	3	4
37	腹部に張った(ガスが溜まっているような)かんじがありましたか。	1	2	3	4
38	酸味や胆汁が口に上がってきて困ったことがありますか。……	1	2	3	4
39	胃酸過多や胸焼けがありましたか。……………	1	2	3	4
40	げっぷが出て困りましたか。……………	1	2	3	4
41	食事を始めるとすぐに満腹感がありましたか。……………	1	2	3	4
42	食事をいつものように楽しめないことがありましたか。……………	1	2	3	4
43	食事を終えるのに長い時間かかりましたか。……………	1	2	3	4
44	口の渇きを覚えましたか。……………	1	2	3	4
45	食べ物や飲み物がいつもと違う味がしましたか。……………	1	2	3	4
46	人の前で食事をするのに支障がありましたか。……………	1	2	3	4
47	自分の病気について考えていましたか。……………	1	2	3	4
48	体重が軽すぎることで心配しましたか。……………	1	2	3	4
49	病気や治療のため自分の外見が魅力を失ったと感じましたか。	1	2	3	4
50	将来の健康に関して不安を感じたことがありますか。……………	1	2	3	4
51	髪が抜けましたか。……………	はい		いいえ	
52	(髪が抜けた場合のみお答えください) 髪が抜けたことで気が動転 しましたか。	1	2	3	4

ご回答ありがとうございました。

最後に、記入もれがないことをもう一度確認頂いた後、この調査票を専用の封筒に入れて封をし、ポストに投函して下さい。

JCOG 0912 QOL事務局
〒466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町65
名古屋大学大学院医学研究科 予防医学／医学推計・判断学内
FAX: 052-744-2971
電話: 052-744-2132

資料 7

2011 年度後期定期モニタリングレポート

JCOG0912 (phase III)

臨床病期 I 期胃癌に対する腹腔鏡下幽門側胃切除術の開腹幽門側胃切除に対する非劣性を検証する
ランダム化比較試験

研究グループ: 胃がんグループ	試験進捗:	登録中
研究代表者: 片井 均	登録開始日:	2010 年 3 月 15 日
研究事務局: 片井 均	登録終了予定:	2015 年 3 月
データマネージャー: 加幡 晴美/甲木 博美/ 東大森 綾	追跡終了予定:	登録終了後 5 年
医学的コメント: 中村 健一/片山 宏	JCOG データセンター JCOG 運営事務局	プロトコル改正: なし プロトコル改訂: 第 1 回改訂 2011 年 2 月 1 日 第 2 回改訂 2012 年 2 月 20 日

提出日:2012 年 4 月 19 日

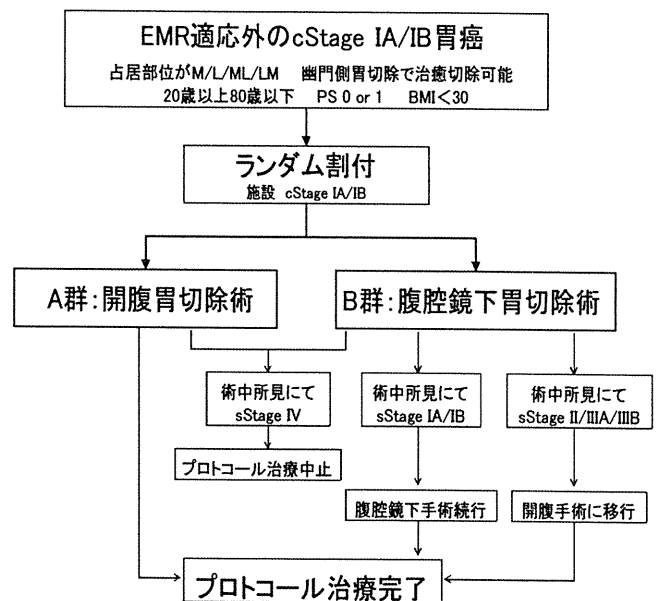
0. 研究概要

0.1. 研究目的

EMR の適応とならない T1N0、T1N1、T2(MP)N0(胃癌取扱い規約第 13 版)の胃癌患者を対象とし、標準治療である開腹幽門側胃切除術に対して、試験治療である腹腔鏡下幽門側胃切除術が全生存期間で劣っていないことを第 III 相試験にて検証する。

0.2. 対象

- 1) 胃原発巣からの内視鏡生検にて、組織学的に胃癌と診断されている。
- 2) 内視鏡検査及び上腹部造影 CT 検査にて、胃癌取扱い規約第 13 版における cStage I A (T1N0) または cStage I B (T1N1、T2[MP]N0) と診断されている。
- 3) 先行して EMR や ESD が行われていない場合、「cN1」あるいは「cN0 かつ、内視鏡検査にて EMR の適応外」と診断されている。
- 4) 先行して EMR や ESD が行われている場合、EMR (ESD) 後の病理組織学的検査により追加外科切除が必要と判断されている。
- 5) 内視鏡検査にて、腫瘍の占居部位が M、L、ML、LM のいずれかであり、幽門側胃切除術で治療切除が可能と診断されている。切除範囲内であれば同時性多発癌の有無は問わない。
- 6) 十二指腸への浸潤を認めない。
- 7) 20 歳以上 80 歳以下である。
- 8) PS: Performance Status (ECOG) が 0 または 1 である。
- 9) BMI (Body Mass Index) が 30 未満である。
- 10) 上腹部手術の既往がなく、腸管(胃を含む)切除を伴う手術の既往がない。ただし、虫垂炎に対する虫垂切除は腸管切除に含めない。
- 11) 他のがん種に対する治療も含めて化学療法(内分泌療法を含む)や放射線治療の既往がない。
- 12) 登録前 56 日以内の最新の検査値で主要臓器機能が保たれている。
- 13) 試験参加について、患者本人から文書で同意が得られている。



0.3. エンドポイント

- Primary endpoint : 全生存期間
- Secondary endpoints : 無再発生存期間、腹腔鏡下手術完遂割合、開腹移行割合、有害事象発生割合、手術関連死亡割合/早期死亡割合/Grade4 の非血液毒性発生割合、術後早期経過(排ガスまでの日数、鎮痛剤の使用割合、

胃がんグループ/参加医療機関のみ

術後 3 日目まで及び入院期間中の体温の最高値)、術後 QOL

胃がんグループ/参加医療機関のみ

0.4. 治療

A 群: 開腹胃切除術

B 群: 腹腔鏡下胃切除術

0.5. 割付調整因子

施設、cStage (I A / I B)

0.6. 予定登録数、登録期間、追跡期間

予定登録数: 920 名、登録期間: 5 年、追跡期間: 5 年

0.7. 解析

第 1 回中間解析: 予定登録数の半数の登録が得られた時点以降に問い合わせを行う最初の定期モニタリングのデータを用いて行う。原則として中間解析中も登録は停止しない。→2011 年度前期時点で全生存期間のイベント数がゼロであったため、当初のタイミングでの中間解析は行わない。登録終了までに中間解析が行えるほどの全生存期間のイベント数が得られないことが予想されるため、1 回目の中間解析は無再発生存期間を用いて行う。ただし、登録中に中間解析が行えるほどの無再発生存期間のイベント数が観察されるかどうかは不明であるため、登録期間中に両群合わせて無再発生存期間のイベント数が 20 例に達した場合に中間解析を実施し、20 例未満の場合は登録中の中間解析は行わない。

第 2 回中間解析: 最終登録時点以降に問い合わせを行う最初の定期モニタリングを目処に適切と思われる時期の定期モニタリングに合わせて行う。

0.8. プロトコール改正・改訂

改正: なし

第 1 回改訂: 1) 適格規準の変更 (JCOG1009/1010 との複数試験登録可についての記載を追加)

2) 腹腔鏡下手術から開腹へ移行する規定の誤記修正

3) 研究者情報、定型記載の更新

第 2 回改訂: 1) 中間解析時期の変更

2) 適格規準の変更

3) 胃癌取扱い規約第 14 版、胃癌治療ガイドライン第 3 版の追記

4) リンパ節郭清の規定の追記

5) プロトコール治療中止規準の追記

6) 有害事象項目の追加

7) 術者認定申請書の送付先の補完

8) 定型章および研究者情報の更新

9) IC 文書の更新 (グループ名・研究費名等の更新)

0.9. 進捗状況

特記事項なし

胃がんグループ/参加医療機関のみ

目次

0.	研究概要	1
0.1.	研究目的	1
0.2.	対象	1
0.3.	エンドポイント	1
0.4.	治療	2
0.5.	割付調整因子	2
0.6.	予定登録数、登録期間、追跡期間	2
0.7.	解析	2
0.8.	プロトコール改正・改訂	2
0.9.	進捗状況	2
1.	登録状況	4
1.1.	参加施設別登録数	4
1.2.	登録時の個人識別情報使用不可の施設	5
1.3.	集積ペース	5
2.	今回のモニタリング作業	5
2.1.	作業内容	5
2.2.	追跡調査の依頼と回収状況	5
2.3.	未回収 CRF・不明点についての問い合わせ	6
3.	適格性の検討	6
4.	背景因子・治療の集計	7
5.	治療経過要約	15
6.	プロトコール逸脱の可能性の検討	15
7.	安全性の評価	17
7.1.	重篤な有害反応/有害事象	17
7.2.	一般的な有害事象(CTCAE VER.4.0 日本語訳 JCOG 版、CLAVIEN-DINDO 分類による)	20
8.	有効性の評価	29
9.	転院患者一覧	30
10.	監査委員会からの修正依頼案件	30
11.	QOL 調査票回収状況	31

調査予定日前 182 例

未回収 6 例

回収不能 3 例（同意撤回、患者拒否 2）

手術 3 年後 調査

回収済み 0 例

調査予定日前 382 例

未回収 0 例

回収不能 2 例（同意撤回、患者拒否）

JCOG0912 QOL 調査進捗状況 (2012/04/06)

【 QOL 調査参加施設からの全登録数】 384 例

登録時 QOL 調査

回収済み 377 例

未回収 6 例

回収不能 1 例 (同意撤回)

手術 30 日後 調査

回収済み 354 例

調査予定日前 20 例

未回収 7 例

回収不能 3 例 (同意撤回、郵送時紛失、患者拒否)

手術 90 日後 調査

回収済み 319 例

調査予定日前 60 例

未回収 2 例

回収不能 3 例 (同意撤回、患者拒否 2)

手術 1 年後 調査

回収済み 193 例

胃がんグループ/参加医療機関のみ

1. 登録状況

登録例 555 例(2012年3月31日 現在)

1.1. 参加施設別登録数

施設名	A 群	B 群	計
函館厚生院函館五稜郭病院	11	12	23
岩手医科大学	6	6	12
国立病院機構仙台医療センター	5	6	11
山形県立中央病院	5	6	11
§ 5 栃木県立がんセンター	1	2	3
§ 2 国立がん研究センター東病院	3	3	6
国立がん研究センター中央病院	75	76	151
がん・感染症センター都立駒込病院	0	0	0
東京医科歯科大学	2	2	4
がん研究会 有明病院	5	7	12
§ 4 虎の門病院			
神奈川県立病院機構 神奈川県立がんセンター	47	47	94
§ 4 北里大学医学部	2	0	2
§ 4 横浜市立大学附属市民総合医療センター	2	1	3
§ 3 富山県立中央病院	2	3	5
§ 4 石川県立中央病院	2	3	5
§ 5 岐阜大学医学部	0	1	1
静岡県立総合病院	13	15	28
静岡県立静岡がんセンター	43	44	87
愛知県がんセンター中央病院	26	25	51
§ 3 名古屋大学医学部	1	0	1
藤田保健衛生大学	0	0	0
§ 6 京都医療センター	0	0	0
大阪大学医学部	4	2	6
近畿大学医学部	0	0	0
大阪府立病院機構 大阪府立成人病センター	6	2	8
大阪医科大学	3	1	4
§ 3 関西医科大学附属枚方病院	2	1	3
§ 6 神戸大学医学部	0	0	0
兵庫県立がんセンター	6	4	10
§ 6 天理よろづ相談所病院	2	5	7
和歌山県立医科大学	2	1	3
§ 3 島根大学医学部			
広島市立広島市民病院	2	2	4
§ 3 福山市民病院	0	0	0
§ 1 国立病院機構 四国がんセンター	0	0	0
大分大学医学部 附属病院			
計	278	277	555

網掛け: IRB 未承認施設(2012年4月9日現在)

- § 1: 2010年4月 途中参加施設(本試験開始時には参加予定ではなかったが、試験開始後に参加を希望した施設)
- § 2: 2010年10月 途中参加施設(本試験開始時には参加予定ではなかったが、試験開始後に参加を希望した施設)
- § 3: 2011年4月 途中参加施設
- § 4: 2011年4月 途中参加施設(旧消化器がん内科グループより合流)
- § 5: 2011年7月 途中参加施設
- § 6: 2011年9月 途中参加施設

胃がんグループ/参加医療機関のみ

1.2. 登録時の個人識別情報使用不可の施設

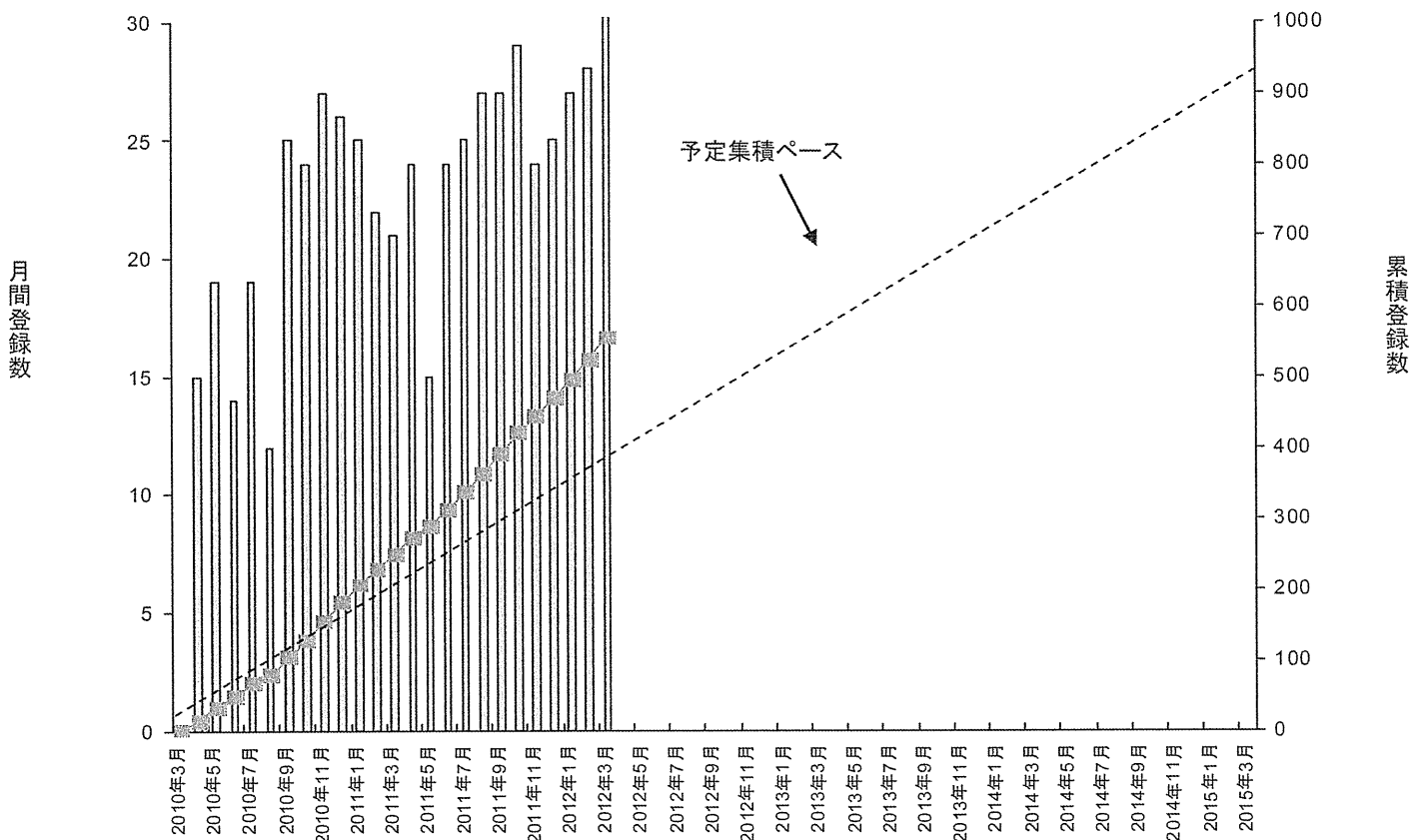
施設名	個人識別情報使用不可の内容	遵守	不遵守
がん・感染症センター 都立駒込病院	イニシャル「X.X.」、生年月日の日を「1日」として登録	0例	0例
大阪大学医学部	FAX送信時、カルテ番号の下3桁をマスク、生年月日の日を一律1日で登録、後日登録適格性確認票を郵送	6例	0例
和歌山県立医科大学	登録時、カルテ番号5桁、生年月日の日は一律1日 後日、登録適格性確認票を速達郵送→真のカルテ番号、生年月日	0例	3例* ¹

注1) 登録数と一致しない場合あり(参加途中より個人識別情報使用不可となった場合)

注2) 複数の条件がありその一部が不遵守の場合も「不遵守」として掲載

*1 不遵守の内容:「後日、登録適格性確認票を速達郵送」となっているが未受領

1.3. 集積ペース



2. 今回のモニタリング作業

2.1. 作業内容

- 1) 追跡調査(2012年12月2日発送、12月26日〆切、2012年1月10日督促)
- 2) マニュアルチェック
- 3) データ入力
- 4) 入力データとCRFの整合性チェック
- 5) ロジカルチェック
- 6) 集計・解析

2.2. 追跡調査の依頼と回収状況

追跡調査対象例: 420例
 督促した施設: 1施設
 督促後も回答のない施設: なし

胃がんグループ/参加医療機関のみ

2.3. 未回収 CRF・不明点についての問い合わせ

未回収 CRF の督促と回収状況

	依頼枚数	依頼施設数	未回収枚数	未回収施設
登録・適格性確認票	1 枚	1 施設	1 枚	1 施設
未回収 CRF 督促	110 枚	10 施設	63 枚	5 施設

登録適格性確認票 未回収施設一覧

施設名	未回収枚数	未回収登録番号
静岡県立静岡がんセンター	1 枚	106

CRF の不明点・未記入の問い合わせと回収状況

	依頼枚数	依頼施設数	未回収枚数	未回収施設
不明点・未記入の問い合わせ	255 枚	19 施設	7 枚	3 施設

3. 適格性の検討

以下、網掛けはグループによる検討済み

群	No.	施設名	担当医コメント	データセンターコメント	グループ 検討結果
A	47	神奈川県立がんセンター	<病理所見記録> 術前検査では分からなかったが、術後病理にて腫瘍とは別の部分に MALT リンパ腫があることが判明した。断端は不明である。リンパ節に、リンパ腫の転移あり。	なし	適格
A	95	国立がん研究センター中央病院	なし	先行して行われた EMR/ESD が登録日の 57 日前	プロトコール改訂(予定)により適格。逸脱
A	107	仙台医療センター	H22.4 月 体下部 IIc 病変に対し ESD。sig、T1a(M)、6×12 mm、UI(-)、ly0、v0。フォロー中の GIF で今回の病変を発見された。	コメントの治療は EMR 適応外の異時性多発がん	2011/9/3 時点では不適格。1009/1010 の結果がでた後に再検討
A	196	国立がん研究センター中央病院	なし	先行して行われた EMR/ESD が登録日の 74 日前	プロトコール改訂(予定)により適格。逸脱
B	195	国立がん研究センター中央病院	なし	先行して行われた EMR/ESD が登録日の 62 日前	プロトコール改訂(予定)により適格。逸脱
B	291	静岡県立総合病院	<2011 年度後期追跡調査> 前医生検にて腺癌の診断にて登録しましたが、当院生検では癌が出ず。2011/11/15 までに 4 回の生検でいずれも癌はでていません。手術を延期しています	登録日 2011/6/14	

4. 背景因子・治療の集計

登録時の背景因子(胃癌取り扱い規約第13版)

対象:2012年3月31日までに登録された555例

	A群 n=278	B群 n=277	計 n=555
年齢(歳)			
中央値	63.0	63.0	63.0
最小-最大	35-80	30-80	30-80
性別			
男	174	184	358
女	104	93	197
登録時 T			
T1	255	252	507
T2(MP)	23	25	48
登録時 N			
N0	273	271	544
N1	5	6	11
登録時 Stage			
cIA	250	246	496
cIB	28	31	59
PS			
0	278	275	553
1	0	2	2
登録時 BMI			
中央値	22.5	22.3	22.4
最小-最大	16.2-29.7	15.2-28.3	15.2-29.7

割付調整因子

	A群 n=278	B群 n=277	計 n=555
登録時 Stage			
cIA	250	246	496
cIB	28	31	59

割付調整因子(登録時 Stage)の登録後変更一覧

No.	群	施設名	変更前	変更後
7	B	神奈川県立がんセンター	cIA(T1N0)	cIB(T2[MP]N0)

胃がんグループ/参加医療機関のみ

治療前報告(胃癌取り扱い規約第13版)

対象:2011年10月12日までに治療前報告1が回収された370例

	A群 n=185	B群 n=185	計 n=370
原発巣の主な組織型			
pap	1	0	1
tub1	36	43	79
tub2	46	35	81
por1	17	17	34
por2	21	26	47
sig	63	63	126
muc	1	1	2
腺扁平上皮癌	0	0	0
扁平上皮癌	0	0	0
カルチノイド腫瘍	0	0	0
その他	0	0	0
不明	0	0	0
原発巣の主肉眼型			
0 I型	3	3	6
0 IIa型	7	6	13
0 IIb型	3	0	3
0 IIc型	136	133	269
0 III型	2	1	3
0 IIa+IIc型	18	24	42
0 IIc+IIa型	7	7	14
1型	1	1	2
2型	4	3	7
3型	4	6	10
4型	0	0	0
5型	0	1	1
欠損	0	1	1
主占居部位			
U	0	0	0
M	103	110	213
L	81	74	155
欠損	1	1	2
占居部位(複数選択)			
E	0	0	0
U	1	0	1
M	108	111	219
L	97	87	184
D	0	0	0
内視鏡所見による 占居部位(断面区分) (複数選択)			
Less	75	60	135
Gre	41	41	82
Ant	46	60	106
Post	59	61	120
Circ	1	1	2

	A群 n=185	B群 n=185	計 n=370
深達度(T因子) (14版)			
T1a-M	61	67	128
T1b-SM	111	101	212
T2-MP	13	17	30
T3-SS	0	0	0
T4a-SE	0	0	0
T4b-SI	0	0	0
TX	0	0	0
治療前臨床N			
N0	185	181	366
N1	0	4	4
N2	0	0	0
N3	0	0	0
NX	0	0	0
治療前臨床M			
M0	185	185	370
M1	0	0	0
MX	0	0	0
治療前臨床Stage			
IA	172	165	337
IB	13	20	33
II	0	0	0
IIIA	0	0	0
IIIB	0	0	0
IV	0	0	0
併存症			
なし	98	101	199
あり	87	84	171
既往歴			
なし	101	113	214
あり	84	72	156

胃がんグループ/参加医療機関のみ

手術所見記録(胃癌取り扱い規約第 14 版、胃癌治療ガイドライン第 3 版)

対象:2011 年 10 月 12 日までに手術所見記録用紙 1、2 が回収された 364 例

研究事務局の意向により網掛け部分の群間比較データは参加施設に公表しない

	A 群 n=180	B 群 n=184	計 n=364
手術時間(分)			
中央値	199	270	234
最短-最長	48-373	158-577	48-577
術式			
胃粘膜切除術	0	0	0
胃局所切除術	0	0	0
胃分節切除術	0	0	0
噴門側胃切除術	0	0	0
幽門保存胃切除術	50	45	95
幽門側胃切除術	129	138	267
胃全摘術	1	1	2
その他の切除術	0	0	0
非切除(吻合術)	0	0	0
試験開腹	0	0	0
胃瘻・腸瘻造設術	0	0	0
その他の姑息手術	0	0	0
合併切除臓器			
なし	166	174	340
あり	14	10	24
ありの場合 (複数選択)			
脾	0	0	0
脾	0	1	1
副腎	0	0	0
結腸	0	0	0
胆嚢	12	9	21
肝	1	0	1
横隔膜	0	0	0
その他*1	1	0	1
リンパ節郭清程度			
D0	0	0	0
D1	0	0	0
D1+	121	140	261
D2	47	31	78
D2+	8	8	16
その他	0	0	0
欠損	4	5	9
迷走神経腹腔枝温存 の有無			
なし	86	95	181
あり	94	89	183
再建法(腸管吻合法)			
R-en-Y	55	49	104
B I	75	91	166
B II	0	0	0
空腸間置	0	0	0
食道胃吻合	0	0	0
ダブルトラクト	0	0	0
バイパス	0	0	0
胃・胃吻合	50	44	94
その他	0	0	0
皮膚切開の最大径 (cm)			
中央値	16.0	5.0	8.0
最小-最大	5.0-23.0	1.0-18.0	1.0-23.0
欠損*2	3	0	3

	A 群 n=180	B 群 n=184	計 n=364
6cm を超える小切開 (B 群のみ)			
なし		177	177
あり*3		7	7
ポート数(B 群のみ)			
中央値		5	5
最小-最大		2-6	2-6
HALS 等特殊補助手 技の有無(B 群のみ)			
なし		184	184
あり		0	0
開腹移行の有無 (B 群のみ)			
なし		178	178
あり*4		6	6
主な肉眼型			
0 I 型	3	3	6
0 II a 型	9	8	17
0 II b 型	2	1	3
0 II c 型	139	135	274
0 III 型	1	0	1
0 II a+II c 型	14	19	33
0 II c+II a 型	5	5	10
1 型	1	1	2
2 型	2	5	7
3 型	3	3	6
4 型	0	0	0
5 型	1	2	3
欠損	0	2	2
腫瘍径(cm)			
中央値	2.5	2.5	2.5
最小-最大	0.8-10.0	1.0-28.0	0.8-28.0
欠損	0	1	1
手術主占居部位			
U	0	1	1
M	100	110	210
L	80	73	153
手術占居部位 (複数選択)			
E	0	0	0
U	1	3	4
M	104	115	219
L	87	81	168
D	0	0	0
欠損	0	1	1

胃がんグループ/参加医療機関のみ

	A群 n=180	B群 n=184	計 n=364
主占居部位 (断面区分)			
Less	72	65	137
Gre	32	36	68
Ant	30	42	72
Post	45	40	85
Circ	1	1	2
占居部位(断面区分) (複数選択)			
Less	81	77	158
Gre	39	45	84
Ant	44	51	95
Post	53	54	107
Circ	1	1	2
欠損	0	1	1
深達度(T因子) (胃原発巣摘出前)			
T1a-M	56	68	124
T1b-SM	103	97	200
T2-MP	18	17	35
T3-SS	2	1	3
T4a-SE	1	1	2
T4b-SI	0	0	0
TX	0	0	0
深達度(T因子) (胃原発巣摘出後)			
T1a-M	58	68	126
T1b-SM	102	97	199
T2-MP	17	16	33
T3-SS	2	2	4
T4a-SE	1	1	2
T4b-SI	0	0	0
TX	0	0	0
リンパ節転移 (N因子)(13版) (胃原発巣摘出前)			
N0	176	181	357
N1	4	3	7
N2	0	0	0
N3	0	0	0
NX	0	0	0
リンパ節転移 (N因子)(13版) (胃原発巣摘出後)			
N0	173	179	352
N1	6	5	11
N2	1	0	1
N3	0	0	0
NX	0	0	0
遠隔リンパ節転移			
なし	180	184	364
あり	0	0	0
肝転移			
H0	179	184	363
H1	0	0	0
HX	1	0	1

	A群 n=180	B群 n=184	計 n=364
腹膜播種(12版)			
P0	180	184	364
P1	0	0	0
P2	0	0	0
P3	0	0	0
遠隔転移			
M0	180	184	364
M1	0	0	0
MX	0	0	0
術中迅速細胞診			
CY0	104	41	145
CY1	0	0	0
CYX	76	143	219
郭清リンパ節総個数			
中央値	46	44	45.5
最小-最大	20-110	14-94	14-110
切除近位断端(口側)			
PM0	180	184	364
PM1	0	0	0
PMX	0	0	0
切除遠位断端 (肛門側)			
DM0	180	184	364
DM1	0	0	0
DMX	0	0	0
手術の癌遺残度			
R0	180	184	364
R1	0	0	0
R2	0	0	0
RX	0	0	0
手術の進行度(13版) (胃原発巣摘出前)			
0	0	0	0
I A	157	162	319
I B	20	21	41
II	3	0	3
III A	0	1	1
III B	0	0	0
IV	0	0	0
手術の進行度(13版) (胃原発巣摘出後)			
0	0	0	0
I A	157	162	319
I B	18	19	37
II	4	2	6
III A	0	1	1
III B	1	0	1
IV	0	0	0
術中出血量(mL)			
中央値			78.5
最小-最大			0-1065

*1 合併切除臓器あり「その他」の詳細

No.	群	詳細
117	A	鼠径ヘルニア

胃がんグループ/参加医療機関のみ

*2 皮膚切開の最大径が欠損の症例

No.	群	詳細
54	A	測定忘れました
111	A	理由を問い合わせ中
263	A	測定せず

*3 6cm を超える小切開ありの症例(B 群のみ)

No.	詳細
147	腹腔内出血のため
253	再建終了時、脾下極からの出血あり、同部の凝血塊除去と止血の確認のため創を拡大した
275	腹腔鏡下に幽門側胃切除、D2 郭清、R-Y 吻合するが、胃空腸吻合がねじれていたため、皮切を7.5cm に延長し吻合部を切除し再吻合
295	開腹移行のため
304	術中診断で SE だったため
354	開腹手術に移行したため
355	開腹手術に移行したため

*4 開腹移行のありの症例(B 群のみ)

No.	詳細
147	腹腔内出血のため
275	腹腔鏡下に幽門側胃切除、D2 郭清、R-Y 吻合するが、胃空腸吻合がねじれていたため、皮切を7.5cm に延長し吻合部を切除し再吻合
295	SS、N1 と判明したため、胃全摘、脾摘を施行
304	術中診断で SE だったため
354	病変と噴門が近接していることが判明。小切開創からの胃切離、吻合は困難と考え開腹術へ移行
355	標本摘出後、口側胃が小切開創からでは十分に引き出せず、開腹での再建術に移行

胃がんグループ/参加医療機関のみ

術後経過

対象: 2011年10月12日までに術後所見記録1が回収された358例
 研究事務局の意向により網掛け部分の群間比較データは参加施設に公表しない

	A群 n=178	B群 n=180	計 n=358
術後排ガスまたは排便 (術後1日目～術後21日目)			
なし	0	0	0
あり	178	180	358
排ガスまたは排便までの 日数(日)			
中央値			3
最小-最大			0-5
欠損			1
鎮痛剤使用の有無			
なし			167
あり			190
欠損			1
体温(最高値、°C)			
術後1日目 中央値			37.8
最小-最大			36.2-39.6
術後2日目 中央値			37.4
最小-最大			36.0-39.5
術後3日目 中央値			37.0
最小-最大			35.7-39.5
入院期間中 中央値			37.9
最小-最大			36.7-40.1
術後転帰			
軽快	177	180	357
転科/転院	1	0	1
死亡	0	0	0
再手術			
なし	178	179	357
あり*1	0	1	1
術中～初回退院までの輸血 濃厚赤血球			
なし	178	179	357
あり	0	1	1
凍結血漿			
なし	178	179	357
あり	0	1	1
その他			
なし	178	180	358
あり	0	0	0

*1. 再手術「あり」の症例

No.	群	施設名	詳細
238	B	静岡県立静岡がんセンター	腸閉塞に対し癒着剥離術、消化管吻合術施行。その時に後出血あり再開腹止血術施行

胃がんグループ/参加医療機関のみ

病理所見記録(胃癌取り扱い規約第 14 版、胃癌治療ガイドライン第 3 版)

対象:2011 年 10 月 12 日までに病理所見記録用紙 1 が回収された 355 例

	A 群 n=177	B 群 n=178	計 n=355		A 群 n=177	B 群 n=178	計 n=355
原発巣の主な組織型				腹膜播種			
pap	1	3	4	pP0	177	178	355
tub1	29	31	60	pP1	0	0	0
tub2	41	41	82	pPX	0	0	0
por1	16	9	25	腹腔洗浄細胞診			
por2	45	52	97	pCY0	106	47	153
sig	45	39	84	pCY1	0	0	0
muc	0	0	0	pCYX	69	131	200
カルチノイド腫瘍	0	0	0	欠損	2	0	2
内分泌細胞癌	0	0	0	組織学的切除近位断端 (口側)			
リンパ球浸潤癌	0	2	2	pPM0	177	177	354
肝様腺癌	0	0	0	pPM1	0	0	0
腺扁平上皮癌	0	0	0	pPMX	0	1	1
扁平上皮癌	0	0	0	組織学的切除遠位断端 (肛門側)			
未分化癌	0	1	1	pDM0	177	176	353
その他の癌	0	0	0	pDM1	0	1	1
不明	0	0	0	pDMX	0	1	1
組織学的深達度(T 因子)				R 分類			
pT1a-M	85	83	168	R0	177	175	352
pT1b-SM	73	74	147	R1	0	1	1
pT2-MP	10	15	25	R2	0	0	0
pT3-SS	7	5	12	RX	0	1	1
pT4a-SE	2	1	3	欠損	0	1	1
pT4b-SI	0	0	0	組織学的 Stage (13 版)			
pTX	0	0	0	IA	144	145	289
組織学的リンパ節転移 (N 因子)				IB	17	24	41
(13 版)				II	13	7	20
pN0	151	160	311	IIIA	3	2	5
pN1	20	14	34	IIIB	0	0	0
pN2	6	4	10	IV	0	0	0
pN3	0	0	0	(14 版)			
pNX	0	0	0	IA	144	145	289
(14 版)				IB	14	19	33
pN0	151	160	311	IIA	10	9	19
pN1	18	13	31	IIB	6	4	10
pN2	6	3	9	IIIA	2	1	3
pN3a	1	1	2	IIIB	1	0	1
pN3b	1	1	2	IIIC	0	0	0
pNX	0	0	0	IV	0	0	0
肝転移							
pH0	177	178	355				
pH1	0	0	0				
pHX	0	0	0				

胃がんグループ/参加医療機関のみ

リンパ節転移・郭清

対象: 2011年10月12日までに病理所見記録2が回収された358例

	A群 n=179	B群 n=179	計 n=358
リンパ節郭清個数			
中央値	41	38	40
最小-最大	12-110	14-92	12-110
欠損	0	1	1
リンパ節転移個数			
中央値	0	0	0
最小-最大	0-18	0-19	0-19
No.1			
-	177	177	354
+	2	2	4
郭清せず	0	0	0
No.2			
-	2	1	3
+	0	0	0
郭清せず	177	178	355
No.3a*			
-	162	170	332
+	14	6	20
郭清せず	0	0	0
欠損	3	3	6
No.3b*			
-	171	168	339
+	5	6	11
郭清せず	0	1	1
欠損	3	4	7
No.3*			
-	163	169	332
+	16	9	25
郭清せず	0	1	1
No.4sa			
-	1	1	2
+	0	0	0
郭清せず	178	178	356
No.4sb			
-	178	179	357
+	1	0	1
郭清せず	0	0	0
No.4d			
-	172	172	344
+	7	7	14
郭清せず	0	0	0
No.5			
-	148	140	288
+	0	4	4
郭清せず	31	35	66

	A群 n=179	B群 n=179	計 n=358
No.6			
-	176	172	348
+	3	7	10
郭清せず	0	0	0
No.7			
-	177	177	354
+	2	2	4
郭清せず	0	0	0
No.8a			
-	174	176	350
+	5	3	8
郭清せず	0	0	0
No.9			
-	177	175	352
+	1	1	2
郭清せず	1	3	4
No.10			
-	1	1	2
+	0	0	0
郭清せず	176	177	353
欠損	2	1	3
No.11p			
-	115	118	233
+	0	1	1
郭清せず	62	58	120
欠損	2	2	4
No.11d			
-	2	1	3
+	0	0	0
郭清せず	175	178	353
欠損	2	0	2
No.12a			
-	53	37	90
+	0	0	0
郭清せず	124	140	264
欠損	2	2	4
No.14v			
-	8	8	16
+	0	0	0
郭清せず	170	169	339
欠損	1	2	3

* #3は3a、3bの両方が郭清されている場合は「郭清あり」、どちらか一方でも郭清されていない場合は「郭清なし」として集計。
#3a、3bとわけて記載されていない場合は#3a、3bを欠損とし、#3として「郭清あり」とした。

5. 治療経過要約

対象:2011年3月31日までの登録例 555 例

	A群	B群	計
治療中、または終了報告用紙未回収	101	100	201
終了または中止の理由			
1.プロトコール治療完了	175	177	352
2.プロトコール治療無効	0	0	0
3.有害事象による中止	0	0	0
4.有害事象との関連が否定できない患者拒否	0	0	0
5.有害事象との関連が否定できる患者拒否	2	0	2
6.治療期間中の死亡	0	0	0
88.その他	0	0	0

「完了」以外のプロトコール治療中止理由及び終了理由の検討を要する例

以下、網掛けはグループによる検討済み

群	No.	施設名	中止理由	担当医コメント	データセンターコメント	グループ検討結果
A	49	静岡県立 静岡がん センター	5.有害事象 との関連が 否定できる 患者拒否	割付後に腹腔鏡手術を希望した い旨の意思あり。最終的に7月7 日に同意撤回し、プロトコール治 療中止となる。	腹腔鏡手術施行	5.有害事象との 関連が否定でき る患者拒否
A	72	大阪大学 医学部	1.プロトコ ール治療完了	<手術所見記録> 登録翌日腹腔鏡手術を希望され たため	腹腔鏡手術施行	5.有害事象との 関連が否定でき る患者拒否

6. プロトコール逸脱の可能性の検討

以下、網掛けはグループによる検討済み

<腹腔洗浄細胞診施行>

未:腹腔洗浄細胞診施行せず

群	No.	施設名	深達度		腹腔洗浄細胞診		詳細<担当医コメント>	グループ 検討結果
			術中(胃原発巣 摘出前/摘出後)	病理	手術	病理		
A	116	愛知県がんセンタ ー中央病院	T2-MP/T2-MP	pT1a-M	未	未	失念のため	
A	320	神奈川県立がん センター	T2-MP/T1b-SM	pT2-MP	未	未	術中診断では T1 だったため	
B	7	神奈川県立がん センター	T2-MP/T2-MP	pT2-MP	未	未	術前診断 MP で省略	逸脱
B	8	神奈川県立がん センター	T2-MP/T2-MP	pT1b-SM	未	未	cMP の診断で実施せず	逸脱
B	16	愛知県がんセンタ ー中央病院	T2-MP/T2-MP	pT3-SS	未	CY0	術中迅速標本提出せず、術 後 CY0 と判明	
B	243	国立がん研究 センター中央病院	T2-MP/T2-MP	pT1a-M	未	未	問い合わせ中	
B	350	国立がん研究 センター中央病院	T2-MP/T2-MP	pT1a-M	未	未	次回問い合わせ予定	

<リンパ節郭清>

群	No.	施設名	腫瘍径 (cm)	詳細	グループ 検討結果
A	58	国立がん研究 センター中央病院	2.0	幽門側胃切除術、(胃原発巣摘出前)術中深達 度 T1b-SM、N1、D1+αであるが、#11p 郭清な し	研究事務局より 確認
A	155	国立がん研究 センター中央病院	1.5	幽門側胃切除術、(胃原発巣摘出前)術中深達 度 T2-MP、N1、D1+αであるが、#12a 郭清なし	研究事務局より 確認
B	16	愛知県 がんセンター 中央病院	4.0	幽門側胃切除術、(胃原発巣摘出前)術中深達 度 T2-MP、N0、D2であるが、#3b 郭清なし 【11年度前期】#3b「郭清あり」へ変更の連絡あり	問題なし